



きもの着付けをされた受講生と講師の皆さん

● きもの着付け教室（初心者講座）
きもの着付け技術を習得

1人できものを着られるようになることを目的に、令和3年10月22日から和装総合学院から講師を迎え、染色センターで全8回の「きもの着付け教室」を開催しました。

前半の講座では、きもの着上げ・袋帯二重太鼓といった基礎を、後半の講座は、名古屋太鼓・変わり結びといった帯結びの応用を学びました。多くの方が前半で1人で着ることができるようになり、最終日には上手にきもの着付けを習得されました。



加悦庁舎ロビーの展示の様子

● 障害者週間の啓発活動
障害者の差別解消や雇用促進を目指して

毎年12月3日から9日までの1週間は「障害者週間」です。この障害者週間を知ってもらうため、令和3年12月1日から9日の間、加悦庁舎ロビーにおいて、障害のある方が作られた作品等を展示し、日ごろの活動紹介などを行いました。

障害者週間は、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としています。



養成講座の様子

● 認知症キャラバン・メイト養成講座
まずは正しく知ることから始めよう

令和3年11月13日、元気館において、認知症サポーターの講師役を務めるキャラバン・メイト養成講座を開催しました。与謝野町では、認知症になっても安心して地域で暮らせるまちづくりを目指すために、認知症の理解や関わり方を学び、認知症の

や家族への応援者・支援者となる「認知症サポーター」の養成講座を、小学校・中学校・住民向けに実施しています。

養成講座には44人が参加。京都府立医科大学附属病院精神科の北岡力先生きたおかりきの講義では、「認知症について薬物療法の効果が出るには3～4ヵ月かけて調整が必要なこと」「薬物療法への過度の期待は禁物であること」「どのようにすれば本人や周りの人が幸せになれるかを考えることが重要であること」などについて学びました。また、与謝野町認知症地域支援推進員によるチームオレンジ(※)の説明や、実際のサポーター養成講座の企画立案のグループワークを実施し、今回受講した全員が新たにキャラバン・メイトとして登録されました。

認知症を正しく「知る」ことで、見方や関り方が変わります。まずは知ることから始めてみましょう。認知症サポーター養成講座を希望される際は、地域包括支援センター（福祉課内 ☎ 43-9021）まで相談ください。キャラバン・メイトが伺います。

【チームオレンジ】 近隣の認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族に対し生活面から早期の支援等を行う取り組み。認知症の人をメンバーとして参加します。認知症サポーターが新たに力をふるう場として期待されています。

まちの話題 お届けします



美しい曲線を描くエキシビションハウス

● 世界でも類を見ない「曲げ梁」建築
美しい曲線を描く「瓦」の形をした屋根

令和3年12月4日、井上瓦店（金屋）において、よさの作事組が手がけた倉庫兼展示場（エキシビションハウス）の新築工事竣工セレモニーが開催されました。

『もう一度、日本の木を使おう！』というメッセージを全国に発信したい』と始まったこのプロジェクト。エキシビションハウス最大の特徴は、曲げ梁を使い自然な曲線を描く屋根。曲げ梁の強度を出すため、会員らが試行錯誤を繰り返し厚さ12ミリの地元産の杉板を12枚重ねて梁にする「湾曲積層梁」という珍しい技術を実現しました。「構想を聞いたとき、絶対にできないと思っていた。職人の高い技術と地元で育った木材がなせる業」と構造図を作成した木構造建築研究所の田原代表は話します。「ここがゴールではない。まだまだ前に進みたい」と大垣理事。今後のよさの作事組の挑戦にご注目ください。

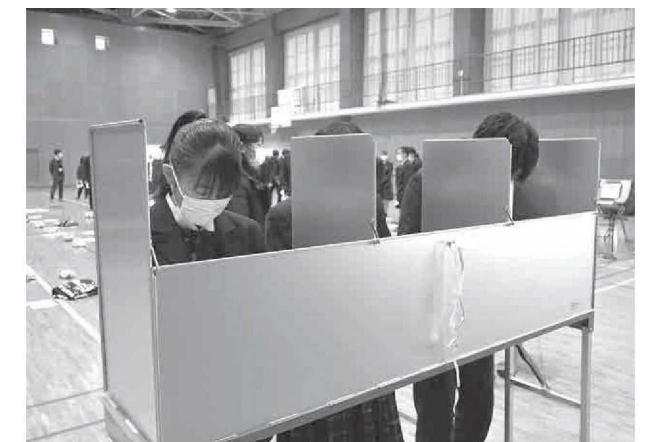
>> KEYWORD よさの作事組

伝統的な木造建築の維持保存を目指す、与謝野町内の工務店や建設事業者など31事業者でつくる団体。重要伝統的建造物群保存地区「ちりめん街道」の町並みの修景、旧加悦町役場庁舎耐震改修工事などに携わり、自分たちの技術を後世に残せるよう活動中。

● 職員出前講座「模擬選挙」
18歳になったら投票へ行こう

令和3年12月14日、宮津天橋高校加悦谷学舎において「模擬選挙」の職員出前講座を行いました。この出前講座は、高校から依頼を受け、選挙年齢が18歳に引き下げられた平成28年から毎年行っています。

出前講座には高校2年生の74人が参加。職員から選挙の意義や種類、30歳以下の投票率の低さなどについて説明を受けた後、実際の記載台と投票箱を使った模擬投票を体験してもらいました。模擬投票は、3人の生徒が候補者役となり「高校授業料と町の財源」をテーマに選挙公約を発表。それを聞いてどの候補者に投票するのかを考え、投票用紙に候補者名を記入して投票しました。初めて選挙を体験した生徒は「投票の方法を知れてよかった」「18歳になったら選挙に行きたい」との声がありました。



記載台で候補者氏名を記入する生徒

>> KEYWORD 職員出前講座

住民や各種団体、学校等から依頼を受け職員が講師となり、町の施策や事業の説明、健康教室等を開催する講座。近年は、学校での教育や環境学習、高齢者向けの運動不足解消や認知症予防の講座が多くなっています。出前講座を希望される場合は、担当課または企画財政課（☎ 43-9015）までお問い合わせください。



町公式HP